

平成 1 9 年 3 月 3 0 日  
文 部 科 学 省

## 独立行政法人日本原子力研究開発機構の試験研究用原子炉 に係る報告もれの有無に関する調査結果について

当省より、独立行政法人日本原子力研究開発機構に対し、原子炉の自動停止に係る未報告事例の有無の調査を指示しておりましたが、調査結果の報告があり、一部不適切な管理状況が見られたものの、法令に照らして、報告もれの事象はなかったことを確認しましたのでお知らせいたします。

### 1 . 経緯

独立行政法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）は、当省からの原子炉の自動停止に係る未報告事例の有無の調査指示及び電力会社において未報告事例が公表されたことを踏まえて、報告もれの有無について調査を行い、原子力科学研究所については3月19日（月）及び29日（木）に、大洗研究開発センターについては3月28日（水）及び29日（木）に、それぞれ当省に調査結果を報告した。

当省は、報告内容を確認するため、報告を受けた都度、職員を現地に派遣し、調査結果の確認を行った。

### 2 . 調査の対象

調査の対象は、核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律に基づき当省が安全規制を担当している、原子力機構の以下の原子炉施設である。

#### (1) 原子力科学研究所

- ・ J R R - 3
- ・ J R R - 4
- ・ 原子炉安全性研究炉（N S R R）
- ・ 定常臨界実験装置（S T A C Y）
- ・ 過渡臨界実験装置（T R A C Y）
- ・ 軽水臨界実験装置（T C A）
- ・ 高速炉臨界実験装置（F C A）

- (2) 大洗研究開発センター
  - ・ 高速実験炉「常陽」
  - ・ 材料試験炉（JMTR）
  - ・ 高温工学試験研究炉（HTTR）

### 3. 調査結果

#### (1) 原子力機構からの報告

原子力機構は、運転しているすべての試験研究用原子炉及び臨界実験装置について、過去10年間の事故・故障に関する報告もれの有無について、運転日誌、原子炉出力計等の出力チャート等の確認、関係者への聞き取り等により調査を行った。

その結果、すべての原子炉施設において法令に基づく報告もれはなかったとしている。但し、TCA及びFCAにおいては、それぞれ7件及び19件の自動停止に関する記録もれ及び原子炉主任技術者等所内関係者への通報もれがあったとしている。

各自動停止の発生状況は、TCAについては、原子炉起動時又は出力上昇時の線形出力計のレンジ切り替えミスによる自動停止5件及び原子炉起動時の線形出力系の誤信号（ノイズ）による自動停止2件であり、FCAについては、19件とも出力上昇時に制御安全棒が円滑に炉心に挿入できなかったことによる自動停止（注1参照）である。

#### (2) 当省の調査結果

当省職員により、原子力機構の調査内容の聴取及び運転記録等の確認を行い、原子力機構の調査結果が妥当であることを確認した。また、上記TCA及びFCAにおける記録もれ及び通報もれ事象については、運転日誌に記載されていないため出力チャートとの照合によってその事実を確認した。

これらのTCA及びFCAの事象については、いずれも自動停止の原因が明らかであり、かつ、原子炉そのものに故障等が生じておらず、また、原子炉の状況に異常がなく直ちに再起動可能であるため、法令上報告が必要な事象には当たらない。（注2参照）

### 4. 当省の見解

原子力機構においては、法令に照らして報告もれの事象はないことを確認した。

## プレス発表資料

なお、事業者による自主管理に係る事項ではあるが、T C A及びF C Aにおいて、自動停止の事実が運転日誌に記載されていない、原子炉主任技術者等の所内関係者への連絡がなされていないなど一部不適切な管理状況にあったことを確認した。これらの改善状況については、今後保安検査等を通じて確認していくこととする。

(注1) F C Aでは、制御安全棒の制御材は核燃料であり、これを炉心に挿入することにより臨界の達成及び出力上昇が可能となる。したがって、制御安全棒が挿入されないことは安全側となる。

(注2) 原子炉施設の故障があった場合には、核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律、同施行令並びに試験研究の用に供する原子炉等の設置、運転等に関する規則に基づき、その旨を直ちに、その状況及びそれに対する措置を10日以内に文部科学大臣に報告しなければならない。但し、原子炉施設の故障の原因が明らかであり、かつ、原子炉の運転に支障が生じるおそれがないときを除くとされている。

(お問い合わせ)

文部科学省科学技術・学術政策局

原子力安全課原子力規制室長

小原 薫

電話：03 - 6734 - 3926 (直通)

03 - 5253 - 4111 (内線3926)